

平成30年 萩市議会12月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	9	松 浦 俊 生	12月10日午前
2	6	五十嵐 仁 美	
3	12	関 伸 久	午後
4	1	浅 井 朗 太	
5	3	瀧 口 治 昭	
6	7	石 飛 孝 道	12月11日午前
7	18	宮 内 欣 二	
8	13	西 中 忍	午後
9	8	佐々木 公 惠	
10	2	小 林 富	
11	4	松 浦 誠	12月12日午前
12	5	村 谷 幸 治	
13	10	美 原 喜 大	午後
14	15	中 野 伸	
15	11	森 田 哲 弘	

質問順位	1	質問者	松浦俊生議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 防災体制と避難設備について	1. 災害対策本部設置について 2. 避難指示・避難勧告・高齢者等避難開始について 3. 緊急避難場所・避難所・事前避難所について 4. 萩市避難所指定職員制度について 5. 総合事務所管内等の自家発電設備設置について 6. 出張所・支所等への車椅子の配置について		

質問順位	2	質問者	五十嵐 仁美 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 妊婦加算について	<p>1. 少子化対策に力を入れているなかで始まった妊婦加算をどう受けとめているか。</p> <p>2. 妊婦加算された方々の声は届いているか。</p> <p>3. 妊婦加算で負担が増える方々に対して、市ができることは何か。</p>		
2. ごみ袋について	<p>1. ごみ袋代にはごみ処理手数料が含まれているが、この手数料をとる法的根拠はあるか。</p> <p>2. 廃棄物は減量傾向にあるのに、今の制度を続ける必要はあるか。</p> <p>3. 合併前から続いている今の制度を見直すべきではないか。</p> <p>4. 無料配布の対象を限定してはどうか。</p> <p>5. 今の制度を見直せば、ごみ袋の価格を下げることができるのではないか。</p>		
3. イージス・アショアについて	<p>1. 地元の拒否でなかなか進まない適地調査のこの状況を市長はどう考えるか。</p> <p>2. 10月の説明会でミサイルのブースターが陸地に落ちる可能性を認めたが、これをどう受けとめたか。</p> <p>3. 市民を守る立場にある市長は、適地の条件を何だと考えているか。</p> <p>4. この問題は、むつみだけの問題で他地域の住民には関係ないと考えているのか。</p>		

質問順位	3	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市景観計画・屋外広告物基準を見直す大義は何か	<p>1. 来年1月の告示にむけて、現在、萩市では萩市景観計画及び屋外広告物基準の見直しを行っている。萩市全域を対象とし、16会場で住民説明会を実施、11月には萩市都市計画審議会での意見聴取を行い、先般の萩市景観審議会では委員を入替えた後に答申を受け、予定通り同計画及び基準の見直しを行うと仄聞している。ついては、この計画・基準を見直す大義は何か。</p> <p>今回の変更点は人口減少が続く萩市において、建物の高さ規制を緩和したり、また商業地区の設定についても交通量が多く、潜在的にニーズがある地区は除外されるなど、時代の流れを読めない修正点に疑問を感じざるを得ない。市長の考えをお伺いしたい。</p>		
2. 市内中心部における公共交通網の空白地帯の解消をどのように進めていくのか	<p>1. 現在、萩市では「地域公共交通網形成計画」を策定中である。萩市は全国に先駆けて高齢化が進展しており、運転免許証の返納等により、交通弱者対策が喫緊の課題となっている。平成17年の合併により広域化し、中山間地域の移動手段も課題ではあるが、市内中心部においても、公共交通網の空白地域が確実に存在する。例えば、土原地区の弘法寺にはかつては「まあーるバス」が周遊していたものの、ルート見直しにより、今では公共交通網の空白地帯となっており、その復活を期待する声は極めて大きい。ついては、周辺部のみならず、市内中心部の公共交通網の空白地帯の解消をどのように進めていくのか、市の方針を訊く。</p>		
3. なぜ木間地区に「夢プラン」がないのか、木間地区こそ「夢プラン」が必要ではないか	<p>1. 本年6月定例会に地域振興計画「夢プラン」策定事業が補正予算に計上された。これは、住民が主体となって地域資源の活用や地域の課題の解決策について議論し、元気な地域を再生するために必要な取組みを定める計画で、その実現にあたり来年度予算から順次予算付けを行うと聞いている。その計画策定の為のワークショップを本年度は川上地域、田万川地域、須佐地域、旭地域及び大島地区で、来年度</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>はむつみ地域、福栄地域、三見地区、大井地区、見島地区 そして相島地区で開催予定とのことである。なぜ、ここに 木間地区がないのか。</p> <p>木間地区は、本年3月に木間小学校・木間中学校が閉校 となり、急速に地域の活力が失われる恐れがある。このよ うな地区にこそ、「夢プラン」は必要ではないのか。</p> <p>木間地区は、集落の人口は少ないものの、地域活性化の 為にその少ない人数で自分たちの地域を盛り上げようとの 気運が極めて高い。そういう意味でも「夢プラン」の主旨 に沿う地区柄でもある。よって、その対象に木間地区を是 非とも加えて欲しい。</p>

質問順位	4	質問者	浅井朗太議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩医療圏における診療所の位置づけ・役割について	<p>1. 中核病院の継続的かつ安定した施設が望まれている中で、広大な面積を持ち、高齢化率42%の萩市においては、市中心部から10キロ以上離れた地域では診療所が地域医療・市民の健康維持に大きな役割を果たしている。</p> <p>(1) 今後、中核・急性期病院の必要性とともに診療所についてもビジョンを持って維持整備する必要があると考えられるが、現時点でどのようなビジョンを考えているか。</p> <p>(2) 診療所は、地域住民とのコミュニケーションの下地をもとにした診療をより求められる場所となっている。各地での特徴があると推察されるが、診療所間での施設・人員体制は各所適正となっているか。</p>		
2. 水道法改正の審議が進む中、萩市の水道事業運営の長期的なビジョンは	<p>1. 現在開会中の臨時国会において、水道法の改正案が審議可決され、衆議院を通過した。改正案が施行されるとした場合、萩市では、水道の民営化について検討するかなどを含め、水道事業の維持管理の将来的なビジョンをどのように想定しているか。</p>		
3. むつみ総合事務所に開設された防衛省「むつみ現地連絡所」について	<p>1. 現地連絡所が開設された経緯はどのような流れか。</p> <p>2. 連絡所へ寄せられる問い合わせの件数及び内容の内訳の集約は市内部でどのようにしているか。またその公開は考えているか。</p> <p>3. 現地連絡所開設により市民の理解は進んでいると考えるか。</p>		

質問順位	5	質問者	瀧口 治 昭 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 31年度の萩市予算編成方針について	<p>1. 来年度は平成の合併後15年を迎え、合併特例措置の漸減や人口減少による歳入の減少など、今後厳しい市の財政運営が予想される中、それでも市民への住民サービスは低下させること無く市政を運営していかなくてはならず、市長初め執行部においては新年度予算の編成には大変なご苦労がある事と推察いたします。まだ、現段階において来年度予算は編成途中で確定されていないことは重々承知していますが来年度予算の中で周辺地の地域振興に対する市長の方針をお聞きいたします。また、本年は維新150年の記念イベントの年でしたが、来年度は一体何を主眼というか目的とされるのかお聞きいたします。</p> <p>2. 本年は、小学校区単位での市長と市民との意見を交換する会「萩まちづくりセッション」が各地域で開催されましたが、その折、会の最後の方で市長が財政の厳しさを説明された時に、今後は今まで出来ていたサービスが出来なくなることもあるという言葉がありました。何が出来なくなるのか不安を感じられた市民もあったのではないかと思います。市財政の健全化はもちろん念頭に置いて運営をして頂かなければいけません、市民に負担を負わせるより、まず内より歳出の削減に努力をする事が先であると思います。歳出の中で人件費も大きな要素となります。近年萩市は萩市の団塊の世代といえる大量退職者問題を乗り越えたばかりだと思いますが、萩市の将来人口を予測した上で退職者と新規採用者の雇用のバランスが取られているのか、お聞きします。</p>		
2. 佐々並市、重要伝統的建造物群保存地区への対応について	<p>1. 萩市には重要伝統的建造物群保存地区に指定された地区が4地区ありますが、その中で平成23年6月に選定された佐々並地区についてお聞きします。5月に議員の研修ということで視察した折、佐々並伝建地区内の建物で、瓦が落ちかけている建物がありました。そのまま放置すれば軒が抜け倒壊の危険性もあり、表通りの橋のたもとの角地にもあたり、また萩往還沿いの場所でもあり、佐々並を訪れ</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>る人の目にも多く触れるところでもありました。所有者との交渉も現在、担当課で進められているとのことですが、その家が佐々並の伝建地区認定への発端となった家とも聞いています。この現状をどのようにされるのか今後の市の対応をお聞きします。</p>
<p>3. 第3セクターの取り扱いについて</p>	<p>1. 6月の一般質問で第3セクターに対する市の基本的な考えをお聞きし、その中で組織の設立目的を重視していくとの回答をいただきましたが、今回はもう少し掘り下げてお聞きします。</p>

質問順位	6	質問者	石 飛 孝 道 議 員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 次世代に繋がる持続可能な漁業を見出すために	<p>1. 今年3月、9月定例会において、漁業（後継者対策、資源の確保、魚価アップ、その他）に関する質問をさせていただきました。しかし漁業の現状はまだまだ厳しい状況が続いています。今年度の水揚げ状況も魚種によって異なりますが、昨年度に比べ今年も減少している状況です。</p> <p>このような事態が続くと漁業を営む漁業者にとって深刻な問題となり、後継者人材確保に大きな痛手となります。</p> <p>3月、9月定例会の質問と重複するかもしれませんが、持続可能な漁業を見出すために、下記の項目について、今一度質問させていただきます。</p> <p>(1) 後継者の人材確保（若者定住に繋がる取組み）について</p> <p>(2) 現漁業従事者の支援について</p> <p>(3) 資源の確保（放流・保全）について</p> <p>(4) 漁業従事者の現状の認識について</p> <p>(5) 漁業移住者に対しての生活基盤の整備について</p>		

質問順位	7	質問者	宮内 欣二 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 地域の交通手段の確保について	<p>1. 須佐・田万川地域では、タクシー事業者の休廃業により、住民の交通手段の弱体化が進もうとしています。地域公共交通網形成計画の策定が待てない状況です。どう対応しますか。</p> <p>2. 住民の支え合いによる交通手段の確保をどう考えますか。「互助による輸送」を進める考えはありますか。</p> <p>3. 「自家用有償旅客運送」をすすめますか。運営主体をどうする方針を決めていますか。</p> <p>4. 公共交通網形成計画如何にかかわらず「道路運送法上の許可・登録を要しない運送」はすぐに誰でも取り組みます。緊急対応として積極的に進める考えはありませんか。</p>		
2. イージス・アショア迎撃ミサイル基地の自衛隊むつみ演習場への配備計画について	<p>1. 4回の住民説明会を聞いて市長の認識は深まったか。</p> <p>2. 「適地調査」に対して市長はどう考えているか。</p> <p>3. 「国益にかなうなら反対しない」という発言と萩市のまちづくりとの関係、地方自治をどう考えているのか。</p> <p>4. 住民の安全性は確保されると考えるか。</p>		
3. 漁業法の改正と今後の漁業漁村の姿について	<p>1. 漁業法の改正が国会で審議されているが、今後の漁業・漁村の姿がどう変化すると予想するか。</p> <p>2. 漁業権付与の優先順位が変わることを漁業者に十分説明しているか。</p> <p>3. 海区漁業調整委員会の公選制が廃止されることの影響をどう予想しているか。</p> <p>4. 見島沖のクロマグロをめぐる状況はどうか。</p>		

質問順位	8	質問者	西 中 忍 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市の将来のため、最優先に取り組む課題は何か	<p>1. 萩市は、人口減少、少子・高齢化、地域経済の衰退や一次産業の担い手不足など、多くの課題を抱えています。どの課題も市の将来を考えると、少しでも早く改善させなくてはいけないものだと考えます。</p> <p>そこで市では、この大きな課題に対応するため、基本ビジョンを策定し、7つの基本方針に基づいた様々な取り組みを行おうとしています。</p> <p>私も、基本ビジョンにある全ての取り組みは、大変に重要だと考えていますし、それぞれが関係性を持っていると認識していますので、一体的に事業実施できれば良いと思っています。</p> <p>しかし、財政上の問題などで、全ての事業を一度に実施することは困難なことから、どうしても優先順位を付けながら取り組まなければいけないと思います。</p> <p>また、事業実施する場合には、集中して取り組まなければ、その事業効果は十分に出ないのではないかと考えます。</p> <p>そこで、基本ビジョンを具現化していくため、そして市の将来のため、まずどこから取り組んでいくことが最善と考えているかという方向性と、その方向性を基本ビジョン策定後、初めてとなる新年度予算にどう反映させていこうと考えているか、市長の所見や思いをお尋ねします。</p>		
2. 障がい者雇用と所得向上をどう推進していくのか	<p>1. 国では、今年（平成30年）4月、障害者雇用促進法を改正しましたが、大きな変更点としては、精神障がい者の追加、法定雇用率の引き上げ、精神障がい者における短時間労働者の算定方法などが挙げられます。</p> <p>今回の改正で、法定雇用率が引き上げられたこと等が影響しているかはわかりませんが、国の機関等で障がい者の雇用数が改ざんされていたとの報道がありました。</p> <p>さらに、国の機関だけではなく、地方自治体でも同様な状況が出ていると仄聞しています。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>そこで、雇用数や雇用形態など、障がい者の雇用状況がどうなっているかお尋ねします。</p> <p>さらに、障がい者が通っている、民間事業者が運営している就労支援作業所等に対する市役所からの仕事の発注等の現状がどうなっているかということに併せ、作業所等で働いている障がい者が受け取っている工賃等の現状についてもお尋ねします。</p>

質問順位	9	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 不妊症・不育症への取り組みについて	1. 相談できる窓口と周知啓発について 2. 患者支援の治療費助成制度について		
2. 小中学校普通教室のエアコン設置について	1. 国は第1次補正予算で全国の小中学校普通教室にエアコン設置費用を計上したが市の取り組みは		
3. 市営住宅入居について	1. 入居抽選多数回落選者への救済の取り組みは 2. 連帯保証人確保が困難な者に対する取り組みは		

質問順位	10	質問者	小林 富 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 地域資産を活かした観光による交流人口・関係人口の創出について	<p>1. 萩市の大きな問題点のひとつである人口流出や少子高齢化に伴う担い手不足解消に向けて、「交流人口」や「関係人口」が注目されています。</p> <p>「交流人口」「関係人口」とは、その地域を訪れて交流するひと、また、関心を寄せて特定の地域に関わるひとのことであり、Uターンや移住による「定住人口」の前段階となります。全国的に人口減少および少子高齢化が進む現状においては、交流人口および関係人口の創出が今後、必要だと考えています。</p> <p>萩市においては、世界遺産やジオパーク、豊かな自然、そして地域に支えられた食、芸術・文化、歴史など観光資源が豊富であることから、観光を起点とし交流人口・関係人口を創出の余地・可能性がまだまだあると考えております。</p> <p>以上の観点から訪れたひとに対して地域資源の掘り起こしや地域のひとと関わる機会・仕組みをつくること、定期的な情報発信によって関わりを保つこと、萩市のファンになっていただき萩市の事業や取り組みについて知ってもらうこと、などが必要になります。</p> <p>(1) 今後、「交流人口」「関係人口」創出に向けて地域を含めた協力や組織づくり、担い手発掘などが必要となりますが、現状と今後の展望をお伺いします。</p> <p>(2) 来年には姉妹提携都市である鎌倉市と40周年となります。交流人口および関係人口の創出に向けて例年の事業だけでなく、相互で官民連携による事業検討すべきと考えていますが、現状の検討と今後についてお教えてください。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>2. 子どもたちを預かる現場からの意見をどのように反映していくか、また、官民連携での子どもたち・子育て世帯への支援について</p>	<p>1. 現在、萩市ではひとつづくり構想の検討がされています。全国的には子育て世帯への支援のひとつとして、来年より保育料の無償化などが検討されております。</p> <p>深刻な人手不足という問題を抱えている萩市にとっては、人材確保やいかに現場の声を反映するかが必要になってきます。</p> <p>以上の観点から、現場レベルでの気づきが反映される仕組み、そして、行政サービスだけでなく地域企業やNPOなどと協働・参画してもらいながら子育て環境全般について検討する必要があると考えています。</p> <p>(1) 保育園では、全国的にも人手不足の問題が発生しており、今後、萩市においても保育料無償化によって担い手確保が重要な課題であると思われませんが、人材確保に向けた状況、また、現場での気づきを反映する仕組みと、今後の取り組み予定についてお伺いします。</p> <p>(2) 萩市では子育てガイドブックや萩市子育て世代包括支援センターHAGUなどがはじまり、包括的な支援に取り組んでいます。</p> <p>子どもたちがおかれる多様な状況にきちんとしたセーフティーネットを確保するためには行政支援だけでなく、地域企業による協力やNPOなど民間組織との協働や連携が必要だと思われませんが、いかがお考えでしょうか。</p>

質問順位	11	質問者	松浦 誠 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 多目的トイレの設置について	1. 東萩駅に多目的トイレの設置を		
2. 起業体験の取り組みについて	1. 小中高生を対象に起業体験の実施をしてみてもいいでしょうか		

質問順位	12	質問者	村谷幸治 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 自然災害に対する防災の取り組みについて	1. 市で管理している河川等の点検状況について 2. 市民への各種ハザードマップの周知について		
2. サイクルロード菰の実現に向けて	1. 「サイクル県やまぐちプロジェクト」の現状とサイクルスポーツ・サイクリングを活用した観光振興への取り組みについて		

質問順位	13	質問者	美原喜大議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 山陰自動車道（田万川～須子間）について	1. 計画案について、何故こうなったのか。 2. 如何に考えておられるか。 3. どう対応されるか。		
2. 全国藩校サミット萩大会の引受けについて	1. 来年度サミット萩大会の引受けを決めた。引受けに対する心構えは。 2. 経費の支出と効果は期待できると判断したのか。		
3. 萩市景観計画及び屋外広告物等に関する条例の基準の見直しについて	1. 基準の見直しをする理由は何ですか。 2. どれだけの効果を見ていますか。 3. それは萩の全国ブランドを無くしてでも行う必要があるものですか。		
4. 宇の須橋への通行について	1. 市道上組1号線宇の須橋（左岸側）から上組2号線への安全な通行確保が必要。認識と対策は如何に。（通行し難い道を市道と認定しても。）		
5. 災害未然防止について	1. 中町水路（仮称）への蓋かけが必要。災害未然防止についてどう考えていますか。		
6. 市長としての方針は	1. 政治は結果であると言われ、過疎と経済の立て直しを第一方針として掲げて市長となられた。それから、組織替えに伴い、教育（人づくり構想）へ方向を付け加えられた。ビジョン作成後は地域公共交通網形成計画が今後の第一方針らしい。一体、何が主方針か。第一方針であったはずの過疎対策及び経済の立て直しは、進んでいるのですか。		

質問順位	14	質問者	中野 伸 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 会計年度任用職員制度の取り組み状況について	1. 臨時・非常勤等職員の雇用安定・処遇改善の取り組みについて問う。		

質問順位	15	質問者	森田哲弘議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 施策の情報提供及び周知のあり方について		1. 市民の皆様への市施策の情報提供と周知のあり方についてお尋ねします。	
2. 来年度予算編成での事業に対する委託料について		1. 萩市が委託している事業所に対する委託料や指定管理料についてお尋ねします。	